

健康そうじゃ21 実績・計画

(1) 健康管理

(基本目標) 一人当たりの国保医療費 全国平均以下，健康寿命延伸を目指します。

重点施策1 妊娠期から子育て期までの切れ目のない支援の強化 (施策開始目標年限 平成28年度)

No	施策	平成28年度実績 (実施内容)	平成29年度計画 (施策)	担当課
1	妊娠・出産包括支援事業 (新規)	8月22日から子育てほっとルーム (子育て世代包括支援センター) を開設し，妊娠中から切れ目のない支援を行うために利用者支援事業 (母子保健型) を実施した。	嘱託の母子保健コーディネーターを配置し，妊娠中からの切れ目のない支援を充実する。	こども課
2	要支援妊婦の訪問	妊娠届け出時のアンケートから要支援と思われる妊婦 (91人) を選定し，助産師のスーパーバイザーを交えて支援方法を検討した。電話や面接により支援を行ったものが多く，訪問を実施した件数は9人 (延13人) であった。	継続	こども課
3	こんにちは赤ちゃん訪問	4か月までの乳児のいるすべての家庭を訪問 (こんにちは赤ちゃん訪問) し，様々な不安や悩みを聞き，子育て支援に関する情報提供を行うとともに，発育・育児状況の把握や助言を行い，支援が必要な家庭に対して適切なサービス提供に結びつけます。また訪問を行うスタッフの質の向上と確保を図ります。平成28年度は赤ちゃん訪問100%の実施率。要フォロー率も50%と高く，支援を必要とする家庭が増えています。	継続	こども課
4	養育支援家庭訪問事業	赤ちゃん訪問後や乳幼児健診や育児相談後に，さらに個別に支援が必要な親子への訪問を継続的に行い，発育，栄養，生活環境，疾病予防などの相談に応じます。訪問等で個別に必要な親子へのサポートを継続的に行い，様々な相談に応じます。一緒に離乳食や幼児食を作ったり，療育先の見学へ行くなど個別に応じた関わりをしています。また精神疾患を抱えた母も増え，精神的支援を行うとともに病院受診同行を行うなど他機関との連携も増えています。虐待対応の見守りを兼ねた訪問も増加しています。	継続	こども課
5	ラッコ広場 (育児相談)	年12回 (月1回) 実施し，育児に関する適切な情報の提供や助言を行うと共に，すこやかな乳幼児の育成と保護者の育児不安の軽減に努めた。延参加人数696名。0歳児の参加 (47.9%) と離乳食の相談 (栄養相談全体で46%。栄養相談の内の離乳食相談が40.1%) が最も多いことから，本年度から離乳食の試食を隔月で実施し，より具体的な指導を実施することができた。また，要観察児を対象とした少人数制の育児相談日を設け，時間をかけての育児相談・指導を実施し，よりフォローを密にするよう努めた。	継続	こども課
6	カウンセリングの実施	臨床心理士による個別カウンセリングを年12回実施した。子育ての悩みや夫婦関係等について傾聴し，希望者には継続したカウンセリングを行った。参加者延べ21人 (実14人) 。	継続	こども課

重点施策2 子どもの心の健やかな発達を継続的に支援（施策開始目標年限 平成26年度）

No	施策	平成28年度実績（実施内容）	平成29年度計画（施策）	担当課
1	そうじゃ式早期一貫サポートシステム	全市スタートとなり、3年目。4歳児対象者666名（気になる子の数218名 32.7%）担任からのチェックシート、保護者による生活状況調査票回収率100%。昨年度より小児精神科専門医による発達相談を2回実施し、保護者の気づきを促し、それぞれの機関につながった。また、4歳児支援検討会議を開催し来年度の計画やシステムについての検討を行った。	継続	こども課
2	小学校・幼稚園・保育所間との地域を巻き込んだ連携強化	他機関との顔の見える関係づくりを行い、健診受診勧奨や母子保健情報の共有を行い、切れ目のない支援を行っている。特に保護者に寄り添った支援をしながら、ケース会議などを積極的に開催し、連携・協働に力を入れている。また、年度変わりには就学先に家庭での情報や母子保健情報をつなぐために学校訪問を行っている。	継続	こども課
3	要観察児健康診査	乳幼児健診や育児相談等から経過観察が必要と思われる児を対象として小児発達の専門医による診察と臨床心理士による心理相談を実施した。診察：延113人、心理相談：延33人が受診し、適切な医療や療育につながった。健診以外にも幼稚園や保育所等の所属集団からの相談者が増加している傾向にある。	継続	こども課
4	療育相談事業（総社PEC）、総合検診	早期療育の場として総社PECを年30回（2グループ）行ない、延利用人数は556人であり、子どもの発育発達相談や心理相談からの紹介が増え、登録者も増加傾向にある。また、早期発見の場として総合検診を年5回行ない、延利用人数は49人であり、就学児の受診が増えている状況。	継続	こども課

重点施策3 生活習慣病発症予防と重症化予防の推進（施策開始目標年限 平成27年度）

No	施策	平成28年度実績（実施内容）	平成29年度計画（施策）	担当課
1	高齢者プログラム（受診率向上）	愛育委員による全戸配布や回覧等を通して各種検診のPRを実施。そうじゃ健康マイポイントの登録事業に検診を取り込むことによって検診の受診率向上にとりくんだ。特定健診時に過去の健診結果を用いて生活習慣病予防について保健指導を実施することで生活習慣病予防の推進と継続受診への声かけを実施。	継続	健康医療課
2	国保健康で1万円キャッシュバック事業	H27支給対象世帯：40歳未満の被保険者のみ：57世帯60名に支給。40歳以上の被保険者がいる世帯：25世帯25名に支給。特定健診を受診したら支給対象となる世帯に対して訪問を実施。	継続	健康医療課

3	そうじゃ健康マイポイント事業	分かりやすく，応募しやすい応募カードに変更。そうじゃ健康マイポイント推進団体である，愛育委員・栄養委員の事業も登録事業とした。H28年度の応募者数は2,837人。	継続（マイナーチェンジ施行）	健康医療課
4	糖尿病性腎症重症化予防事業	H27年度の参加者数は18名，3月末で保健指導は終了，データの改善等は未集計	糖尿病性腎症重症化予防事業	健康医療課
5	健診当日保健指導・結果説明会	過去の特定健診の結果をみながら，受診者に合わせた指導を実施。継続受診と生活習慣病予防について指導。結果説明毎回を年8回実施。約150名の参加。	健診当日保健指導	健康医療課
6	要指導及び要医療者訪問指導・生活習慣病予防教室	特定保健指導対象者へは，通知や電話で勧奨。積極的支援実施者13人，動機付け支援実施者70人。	受診勧奨，保健指導の実施	健康医療課

重点施策4 働く世代のがん死亡を減らすためのアプローチ強化（施策開始目標年限 平成27年度）

No	施策	平成28年度実績（実施内容）	平成29年度計画（施策）	担当課
1	妊婦や若い世代の希望者を対象としたHPV検査実施（新規）	20～41歳の女性で医療機関検診で子宮がん検診に併用してHPV検査の受診を希望される方へ助成（2,600円）。受診人数は40人。	継続	健康医療課
		妊婦健診で初めて子宮頸がん検診を受ける若い女性が多いので，HPV検査が陽性（ハイリスク）の妊婦に出産後も子宮がん検診を受けることを動機付けるため，妊娠届出時に受診券を交付し，2600円を費用助成した。（妊娠11週以内に妊婦健診1回目を受ける妊婦が対象）。受診人数は184人。	継続	こども課
2	若い世代のがん検診受診率向上対策として，子どもを対象としたがん教育，子どもから親へ検診受けてねのメッセージカード配布等を検討（継続・拡大）	市内の小学校15校、615人に対して学校を通じて普及啓発用パンフレット、家族へのメッセージカード・封筒を授業で活用してもらえよう指導案とともに配布した。	学校からのアンケートを参考に検討	健康医療課
		乳児健診を受診した母親に，女性のがん検診を啓発するパンフレット及びクリアファイルを配布して受診を呼びかけた。	継続	こども課
3	要精密検査者訪問指導	H28年度 164件訪問実施。（不在含む）肺がん、子宮がん、乳がん、胃がん疑いの方に対して訪問した。	継続	健康医療課

4	がん検診精密検査受診結果把握事業	H27年度受診者に対して6月に電話連絡を実施 その後、未把握の者(69名)に対して7月に通知文を送付	継続	健康医療課
---	------------------	--	----	-------

重点施策5 医療介護連携の強化

No	施策	平成28年度実績(実施内容)	平成29年度計画(施策)	担当課
1	「総社市地域医療連携ネットワーク会議」を実施し、医療・介護・行政の連携について意見交換を行い、必要時に研修会を実施する。	岡山県在宅医療連携拠点事業が終了し平成28年度地域支援事業(長寿介護課担当)へ移行。健康医療課では単市事業として2回実施。5/26実施し16人出席。総社市の医療体制について検討。10/5は長寿介護課が実施している地域包括ケア会議と合同開催。両会議委員2名、地域包括ケア15名、医療連携ネットワーク会議14名出席。地域包括ケア会議参加者へ「医療」について考えていただく機会となった。	長寿介護課と連携をもちながら開催を検討していく。	健康医療課
		10/5、「地域包括ケア会議」との合同開催とし、圏域ケア会議からの住民の意見も交え、意見交換した。	医療介護連携の課題について協議できる場が必要。	長寿介護課
2	「総社市地域医療連携協定」により市域を越えたネットワークを強化する。	①自殺未遂者ケアサポート事業評価として協定を締結している市外3病院と市内2病院へ聞き取りによるアンケート調査を実施。②総社市の救急体制整備の検討のため、市外3病院に「市外病院入院患者の転院状況調査」を実施。結果を「救急から在宅までの医療体制整備」に関する中間報告に活用した。③H27～全国屈指福祉会議が立ち上がり、医療体制整備部会の諮問機関として「医療費適正化推進委員会」を設定。10/26と2/1の2回開催し、医療体制整備について活発な意見交換を行った。(この委員会には市外3病院は参画していない)	市外病院が参画する地域医療連携ネットワーク会議との住み分けも検討。必要であれば合同開催も検討。	健康医療課
3	ICTを活用した医療介護関係者の情報共有を推進する。	晴れやかネットについては、県の補助が地域支援事業に移行した関係で担当課が長寿介護課に移行。引継ぎを行った。	必要時、長寿介護課と連携していく。	健康医療課
		医師・歯科医師・薬剤師・訪問看護師・ケアマネ・行政・晴れやかネット事務局・システム担当でワーキングを開催(5回/年)し、運用について協議を重ねた。ケアキャビネットきびきびについて周知を図るため、チラシの作成やケーブルテレビCM作成(県の事業として)などを行なった。現在は県の補助があり医療機関・薬局以外は無料で設置・利用できるため2月末現在119事業所・333人申請者あり。実際の患者同意も206人(2月末)	申請者へのタイムリーな説明会の開催。また、ID登録者の活用の充実に向けて、操作説明会と多職種情報共有会を開催予定	長寿介護課

(2) 食育

(基本目標) 365日野菜を必要量食べる人 36.5%への引き上げ(現在男性17.3% 女性17.4%)を目指します。

重点施策1 食を通じた健康づくりの推進(施策開始目標年限 平成27年度)

No	施策	平成28年度実績(実施内容)	平成29年度計画(施策)	担当課
1	そうじゃ!野菜365キャンペーン ・365日野菜を必要量食べる。 (350g/日) ・総社産の野菜を積極的に食べる。 ・1日の目標摂取量を超える365gを摂る。	①食育セミナー実施(糖尿病・脂質異常症予防:2回19人) ②食の健康づくり講演会(がん予防・肝臓にやさしい食生活:72人) ③季節のレシピ発行(7回) ④市栄養教室(11回延べ201人) ⑤地区栄養委員会(141回延べ2,341人) ⑥男性料理クラブ等(22回243人) ⑦食育月間イベント(6月100人) ⑧食育スローガン普及啓発(のぼり旗及びポスター配布)	①から⑧継続。 ⑨ヘルシーメニュー ⑩健康フェスティバル	健康医療課
		各種健診, 育児相談等で野菜摂取の推進を行いました。	継続	こども課
		学校給食地食べ率31.9%	学校給食地食べ率40%達成	農林課
2	そうじゃ食育ネットワーク(仮称)のための関係部署の調整(新規)	年2回開催。5月12人・12月10人出席。 健康医療課・農林課・こども夢づくり課・こども課・学校教育課・総社東学校給食共同調理場(栄養教諭)で構成。 食育イベントや情報交換を実施	5月開催予定(6月の食育イベント等検討)	健康医療課
		食育ネットワークの一員として参加。他課等と食育情報を共有しました。	継続	こども課
		食育ネットワークの一員として参加。他課等と食育情報を共有しました。	継続	農林課
3	子どもの頃からの規則正しい食生活習慣を確立するため、「早ね・早おき・朝ごはん」の推進	市栄養教室のライフステージ別講話で推進。また, 栄養委員主催のおやこの食育教室(1回26人), おやこ料理教室(17回・540人), チュッピー料理教室(1回84人)で推進。アンケート結果より(257件)朝ごはん毎日食べる93%, 週5~6回:4%, 週3~4回:0.3%, 週1~2回:2%, 食べない0.7%	市栄養教室で推進 おやこの食育教室で推進 おやこ料理教室で推進	健康医療課
		各種健診, 育児相談等でよい生活習慣の確立の一貫として「早ね・早起き・朝ごはん」の推進を行っています。	継続	こども課
		各学校で生活指導の一つとして行っています。中学校区での一貫した取組に発展してきました,	継続	学校教育課

重点施策2 共食の推進(施策開始目標年限 平成27年度)

No	施策	平成28年度実績(実施内容)	平成29年度計画(施策)	担当課
----	----	----------------	--------------	-----

1	家族揃って（家族の誰かと）一緒に食事をする日を，毎月第3日曜日の「そうじゃ家族の日」に併せて推進（新規）	各種健診，育児相談等で共食の推進を行っています。携帯写真コンテストのテーマに「いっしょに食べるとおいしいね（共食）」部門を設定し，共食のPR推進をはかりました。	継続	こども課
		おやこ料理教室アンケート結果より（257件） 朝ごはんを家族全員で食べる28%，ひとりで食べる12%，家族のだれかと食べる58%，その他2%	そうじゃ家族の日をPR（チラシ，ホームページ等）	健康医療課
2	栄養委員主催の栄養教室や男性料理教室を開催し，共食の場を設ける。	栄養教室は141回延べ2,341人が参加。男性料理教室は10回開催され，延べ202人が参加した。	継続。男性料理教室においても各地区の計画にあわせて実施。	健康医療課

（3）身体活動・運動

（基本目標） 1日1時間身体を動かしている人 10%アップ（現在男性37.5% 女性29.7%）を目指します。

基本施策1 身体活動量の増加の推進（施策開始目標年限 平成28年度）

No	施策	平成28年度実績（実施内容）	平成29年度計画（施策）	担当課
1	市内スポーツクラブ等と協働した運動情報や機会を提供できる仕組みの創設（新規）	高橋川流域圏連携事業として作成した「健康づくりサポートブック」を11/26きびしんレディースセミナーで参加者に配布した。情報がH27時点のため積極的には配布せず。H27年度配布した事業所からの問い合わせもなかった。	要望等なければ活用の予定無し。使用する場合は，内容の加筆修正が必要。	健康医療課
		8月22日総社市・岡山県立大学・片山工業との健康づくり応援プロジェクトとして産官学連携協定を締結。健康フェスティバルin県大（約300人）とメディカルフィットネス講座（延べ約200人）を開催。平成30年度まで継続。また，国保特定健診時やパンフレットコーナーに吉備路アリーナのチラシを配布・設置しPRした。	生活習慣病（予備軍）・糖尿病（予備軍）へのメディカルフィットネス講座を実施。総社市保健センターでの健康フェスティバルにも運動に関係した体験コーナーを企画	
		特になし	特になし	生涯学習課

2	愛育委員・栄養委員を中心とした運動キャンペーンとして、健康増進普及月間など地域及び市役所内でラジオ体操実施や介護予防拠点施設でのロコモティブシンドロームPR活動等を検討（新規）	健康増進月間において愛育委員ブロック研修会1回・栄養委員研修会1回実施。地区健康づくり講座や栄養教室において運動普及を計画し、専門家等からの運動体験を実施。 市役所内でのラジオ体操実施に向けての計画をあげているが未実施。ロコモPRとして総社市保健センター、介護予防拠点施設3箇所にポスター掲示。	継続	健康医療課
3	ウォーキングマップ等を活用し、ウォーキングに取り組む環境を整える（継続・拡大）	総社市のウォーキングマップ（2種類）をHPへ新たに掲載。 吉備の里ふれあいウォークラリーを実施した。	継続。今後も新しい情報等を収集する。	健康医療課 生涯学習課

(4) 休養・こころの健康

(基本目標) 自殺ゼロ (現在74人/5年間) を目指します。

基本施策1 こころのSOSのネットワーク強化

No	施策	平成28年度実績 (実施内容)	平成29年度計画 (施策)	担当課
----	----	-------------------	-----------------	-----

1	<p>自殺ゼロ作戦の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相談窓口の「見える化」「ネットワーク化」 ・ゲートキーパー講座（市民・職域・職員対象） ・自殺未遂者ケアサポート事業 ・産後ケア制度、産後ヘルパー制度の導入を検討 ・不登校、ひきこもり児童、犯罪、被害者、DV被害者に対する関係機関の連携強化 	<p>①ハイリスクアプローチとして「自殺未遂者ケアサポート事業」をH27から実施。H28は相談窓口カード「生きる（第3版）」を作成。サポート事業協力医療機関へアンケート調査時に配布した。前年度作成した第2版と合わせ、市内公共施設、医療機関、薬局等に配布した。健診会場にも設置した。</p> <p>②こころの健康づくり講演会（ゲートキーパー養成講座を兼ねる）自殺予防週間に近い日程で計画。103人の参加。</p> <p>③メンタルヘルスチェック「こころの体温計」H27度から整備。H28は「睡眠障害を確認するチェック」も新たに付加した。</p> <p>H28年度アクセス数：9084件</p> <p>④ゲートキーパー養成講座（自殺予防研修会）庁内の全職員対象に実施。18人参加</p> <p>⑤市内小・中・高校生に相談窓口入りのティッシュ配布</p>	継続実施	健康医療課
		<p>総社市権利擁護センター犯罪被害者支援委員会を開催し、司法機関、医療機関、警察と情報の共有化等の連携を図った。</p> <p>犯罪被害者支援に関する講演会を開催し、100名近い参加者が犯罪被害者支援の現状を学んだ。</p>	犯罪被害者支援フォーラムを開催し、被害者支援などへの関心を高める。	福祉課
		<p>DV被害者や自殺未遂者に対しては、要保護児童対策協議会で関係機関と情報を共有するとともに、支援方法を検討し、連携の下支援を行った。</p>	継続	こども課
		<p>地域包括支援センターによる高齢者実態把握事業 953件、いきいき講座の開催 192回（2161件）。認知症サポーター養成講座の開催 40回(1294人)</p>	継続実施	長寿介護課
		<ul style="list-style-type: none"> ・スクールカウンセラー配置事業により8校にカウンセラーを配置し、児童生徒や保護者へのカウンセリングを実施した。 ・総社市教育支援センターのカウンセラーを学校に派遣し、カウンセリングやケース会議等にあたった。 	継続	学校教育課
		<p>①心の健康の保持増進と適応力づくり（一次予防）</p> <p>H28年度からのストレスチェック義務化に伴い、制度周知を兼ねてメンタルヘルス研修会を行い、全職員を対象にストレスチェック検査を実施。カウンセリングや「管理職のためのメンタルヘルスセミナー」等の情報提供</p>	継続	総務課
		<p>②心の不健康への気づきと早期対応（二次予防）</p> <p>メンタルヘルスカウンセリングや個別面談（本人、上司、主治医等）等を実施。総社市職員衛生委員会を開催し、職場内の情報共有を行った。長時間時間外労働の把握</p>	継続	
		<p>③心の不健康からの回復と職場復帰、再発防止（三次予防）</p> <p>復職プログラムの実施や個別面談等により、職場復帰支援を行い、再発防止に努めた。</p>	継続	
		<p>特になし。</p>	窓口対応中等、お客様から自殺を連想させる発言があった場合、自殺対策関係機関等への報告・相	税務課
		<p>警察署、女性相談所、関係市町村等への連携を密にし、DV被害者への支援が切れ間ないように行えるようにした。</p> <p>また、DV被害者の住民票請求には、請求者の確認を厳重に行うようにした。</p>	H28年度同様に継続予定である。	市民課

		犯罪被害者とその家族が一日でも早く平穏な日常生活ができるよう，人権・まちづくり課が総合相談窓口となり，行政，警察，医療機関，民間支援団体等と連携して支援を行う体制をとっている。	引き続き実施する。	人権・まちづくり課
		必要に応じて健康医療課へ情報提供	継続実施	警防課
2	庁内・関係機関・学校・地域との連携による自殺対策連絡会議・本部会議	2/7自殺対策連絡会議を開催し，庁内の連携を図った。自殺対策本部会議は実施せず。 消防からの救急搬送の情報の取り扱いについて協議。本来の医療機関からの同意が得られた未遂者支援を主に取り組むこととし，消防からの情報は内部情報として取扱い，関係課に情報提供するにとどめることとした。消防へも救急搬送者への同意は不要と伝えた。	H29.4～5月に連絡会実施予定。今年度の計画・方向性を確認する場。ケース検討会により関係者のスキルアップを図るとともに，市の連携強化と意識付けのために自殺対策	健康医療課

(5) 飲酒・たばこ

(基本目標) 妊娠中の飲酒・喫煙 0 % (現在 飲酒0.2%・喫煙2.9%) ，アルコールで健康を害する人の減少 (現在 延べ94件 / 年) を目指します。

基本施策 1 飲酒・喫煙が妊婦や子どもに与える影響についての正しい知識の普及 (施策開始目標年限 平成27年度)

No	施策	平成28年度実績 (実施内容)	平成29年度計画 (施策)	担当課
1	妊婦面接時の指導 (継続・強化)	妊娠届出時の面接により，妊婦の喫煙状況を把握し，妊娠中の喫煙が胎児に与える影響について説明し，禁煙を勧めた。	継続	こども課
2	禁煙紙芝居の活用	実施なし	親子クラブやつどいの広場等での活用	こども課
		なし	検討中	健康医療課
3	そうじゃノンズモーキングプログラム	平成27年3月に宝福寺周辺を「受動喫煙防止モデル区域」と指定。禁煙外来治療費の助成 22件 (H28.4月からH29.3月末) 公用車内の全面禁煙 市役所 (本庁) の喫煙場所は喫煙室のみとし，完全分煙を実施。	禁煙外来治療費の助成	健康医療課
4	企業と連携しての講演会	実施なし	実施予定なし	健康医療課

基本施策2 多量飲酒者減少への積極的アプローチ（施策開始目標年限 平成28年度）

No	施策	平成28年度実績（実施内容）	平成29年度計画（施策）	担当課
1	地域医療連携ネットワーク会議や自殺対策本部会議を通して連携（新規）	部内自殺対策連絡会議を開催したが、飲酒の問題は検討していない。自殺対策本部会議は実施せず。	検討中	健康医療課
2	特定健診受診者全員に適正飲酒量指導（新規）	特定健診受診者に適正飲酒パンフレットを配布し、適正飲酒についての指導をした。	継続	健康医療課
3	断酒外来の情報提供（新規）	多量飲酒者等には断酒会のチラシを配布。断酒会についてPRを実施	継続	健康医療課

（6）歯と口腔の健康

（基本目標）歯科定期検診を受診している人 50%以上（現在 男性30.4% 女性 41.3%）を目指します。

基本施策1 定期検診受診の推進

No	施策	平成28年度実績（実施内容）	平成29年度計画（施策）	担当課
1	歯周疾患検診の対象年齢・実施機関拡大	市内医療機関24箇所で実施 20～70歳の人を対象に実施 134人受診	継続	健康医療課

（7）地域で支え合う健康づくり

（基本目標）地域における活動参加者 全体で85%以上（現在 80.9%）を目指します。

基本施策1 安心して子育てが行える地域の支援体制づくり（施策開始目標年限 平成28年度）

No	施策	平成28年度実績（実施内容）	平成29年度計画（施策）	担当課
1	産前・産後サポート事業（新規）	産前・産後サポート事業の実施はできなかったが、つどいの広場での助産師による妊産婦出張相談（カンガルー広場）を毎月3会場で実施し、妊娠中から産後早期の母乳相談等に対応した。	妊産婦出張相談に加えて、母親学級での助産師による個別相談を実施す	こども課

2	子育て支援者を養成する講座	保育サポーター養成講座に保健師，栄養士等が講師として参加した。	継続	こども課
3	NPO等による子育て拠点施設の運営	親子の交流や子育ての相談場所として，なかよし広場こっこ，なかよし広場ぴよこっこ，チュッピー広場，ちびっこ広場の4箇所で実施し，延利用組数は14,559組(2月末現在)であった。窓口，乳幼児健診，ホームページ等でのPRにより，利用者は増加傾向にある。	継続	こども課
4	親子クラブ等の組織育成支援	市内15の親子クラブの会員と協働しながら，世代間交流，家庭養育活動，事故防止活動など地域に即した活動の充実を図るとともに，活動の支援を行います。また，親子クラブ間のネットワークも充実させていきます。	継続	こども課
5	ファミリーサポート事業	子育ての手伝いが必要なとき，定期的或いは一時的に子どもの預かり・送迎が必要なときに利用できる保育サービスを委託事業にて実施した。 依頼会員902人，提供会員68人，延べコーディネート件数7,018件	継続 ひとり親・生活困窮世帯への利用支援，障がい児等の利用に向けた推進事	こども課
6	地域子育て支援センター事業	親子の交流や子育ての相談場所として，ひかり保育園，第二ひかり保育園，すみれ保育園，山手保育園，太陽保育園の5ヶ所で実施した。窓口，ホームページ等でPR活動を行い，利用者増に努めた。	継続 平成28年度から中央保育所の支援センターがなくなり5園の実施になった。ホームページ等でのPR活動に努める	こども夢づくり課

基本施策2 地域包括ケアシステムの構築

No	施策	平成28年度実績(実施内容)	平成29年度計画(施策)	担当課
1	地域 ・多様な主体の参画による協議体を設置(新規) ・住民主体による高齢者の居場所を増やす(継続・拡大) ・生活支援サポーターを養成(新規)	<ul style="list-style-type: none"> ・地域包括ケア会議，圏域地域包括ケア会議において，総社市の地域支援事業について周知し，協議した。 ・高齢者の居場所としては，百歳体操の会場が7会場増え，140会場となった。 ・生活支援サポーター養成講座(第2回目)を開催し，82名のサポーターを養成した。 ・さらに，H27年度修了生の45人も合わせ，意見交換会を開催し，生活支援サポーターとして活動できる登録者が92名となった。 	生活支援体制整備事業との関連性も視野に入れ，地域包括ケアシステムを構築していく。	長寿介護課

2	<p>安心</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 認知症サポーターの養成 (継続・拡大) ・ 各圏域に認知症カフェを開設 (継続・拡大) ・ そうじゃみんなどで見守るネットワーク 	<ul style="list-style-type: none"> ・ キャラバン・メイトによる認知症サポーター養成講座を40回開催し，1,294人のサポーターを養成した。 ・ 認知症カフェは，中央部北圏域に1箇所，東部北圏域に1箇所，東部南圏域1箇所，西部圏域1箇所，北部圏域1箇所増設し，合計8箇所となった。 ・ そうじゃみんなどで見守るネットワークの協定は，不動産会社，保険会社，配置薬事業，自動車販売業を中心に市内で事業を展開する17の事業所と協定を締結し，合計75事業所となった。。 	継続	長寿介護課
3	<p>健康</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 高齢者の高血圧の有病率35%以下を目指す。 ・ かかりつけ医を持つ高齢者を85%以上にする。 ・ いきいき百歳体操の参加者の拡大 	<ul style="list-style-type: none"> ・ いきいき百歳体操の参加者は，115名増え (会場は7会場数は増加)，約2,105人となった。 	参加者の増加と継続への意欲向上等に繋がるように，いきいき百歳体操のリーダー研修等を開催する。	長寿介護課